

## 御嶽山の火山活動解説資料

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

< 噴火警戒レベル 3（入山規制）が継続 >

御嶽山では、噴火が継続しています。27 日の噴火前から連続して発生している火山性微動の振幅が昨日（29 日）19 時 20 分頃から大きくなり、その後増減を繰り返しています。

### 【防災上の警戒事項等】

御嶽山では、火口から 4 km 程度の範囲では大きな噴石の飛散や火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流の可能性がありますので注意してください。

### 活動状況

#### ・地震・微動の発生状況（図 1～2）

御嶽山では、27 日 11 時 52 分頃、噴火が発生しました。噴火の 11 分前から発生した微動は、本日（30 日）12 時現在も継続しています。昨日（29 日）19 時 20 分頃から火山性微動の振幅がやや大きくなり、そのころから微小な空振も観測されています。火山性微動の振幅は本日（30 日）01 時 15 分頃からは一時的に小さくなりましたが、06 時 12 分頃から再びやや大きくなるなど、振幅の増減を繰り返しています。昨日からの火山性微動の振幅は、噴火発生当初よりは小さいものです。

この火山性微動の振幅の増減は、山頂付近浅部での火山活動の消長を表しているものと考えられます。なお、火山性微動の収まったことが必ずしも火山活動の低下を表すものではありません。

噴煙の高さは 11 時 50 分現在、火口縁上約 400 m で南東に流れています。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 25000（地図画像）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

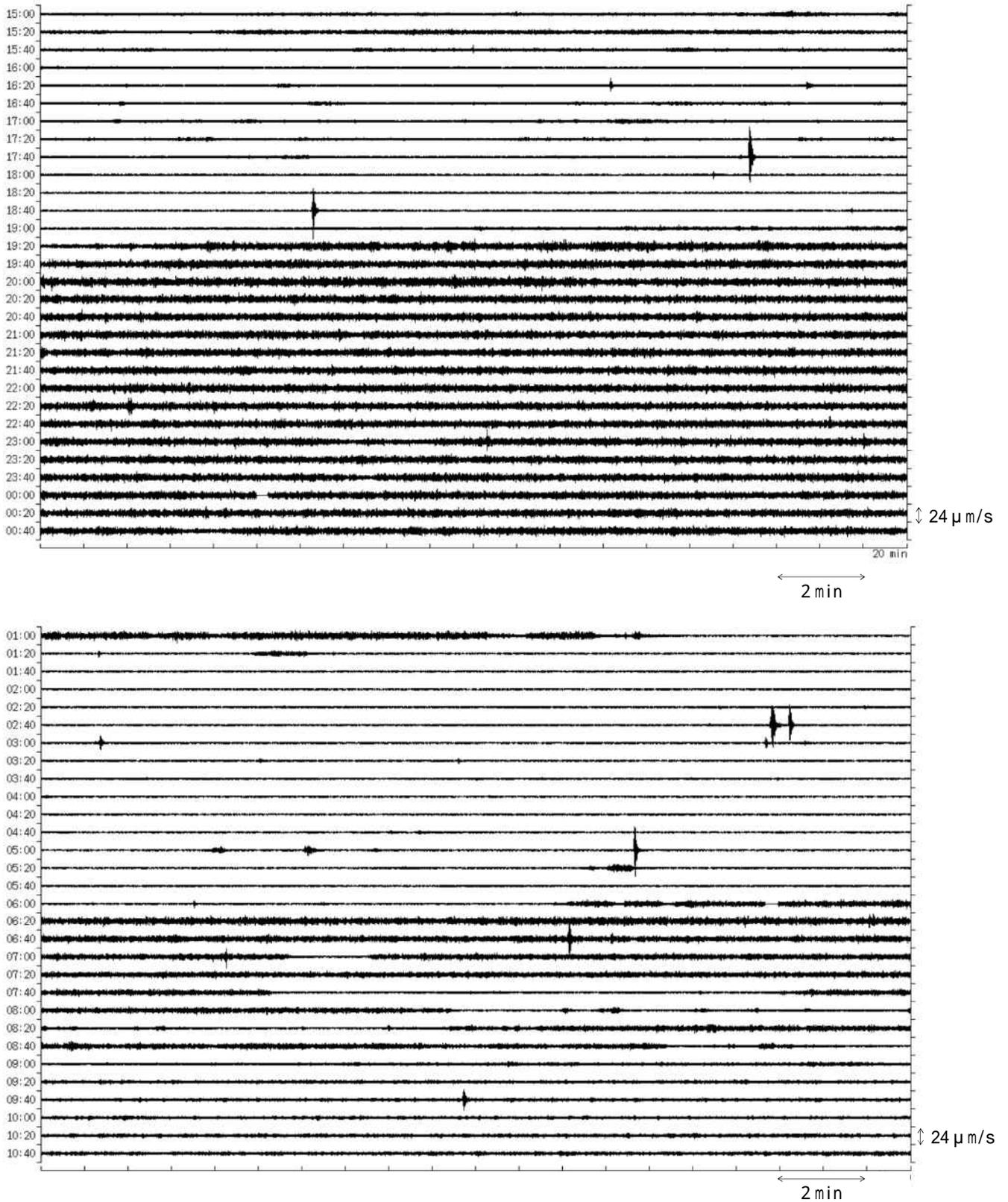


図1 御嶽山 田ノ原上観測点（剣ヶ峰の南東約 2 km）の地震波形  
（上図 9 月 29 日 15 時～30 日 01 時、下図 9 月 30 日 01 時～11 時）

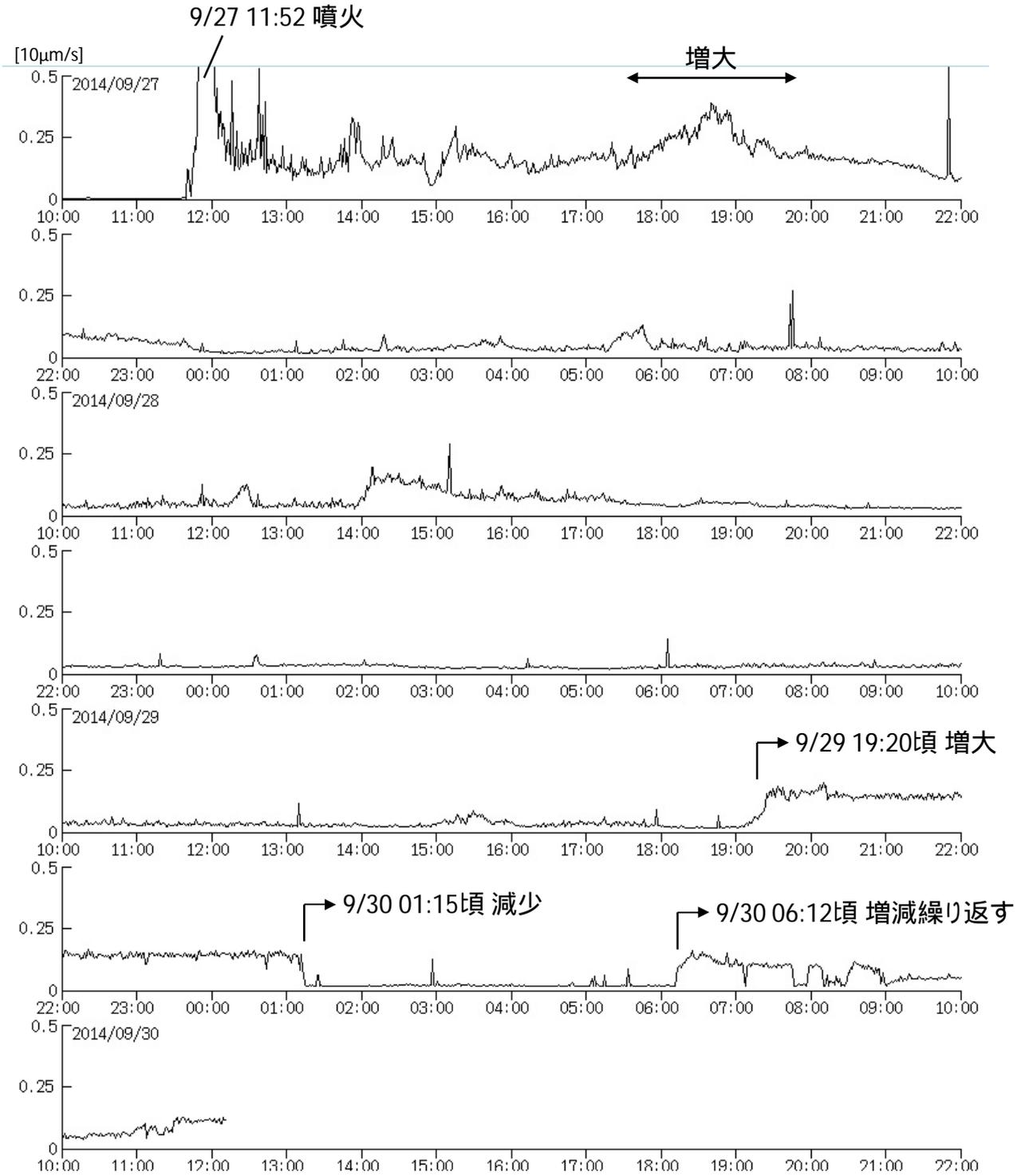


図2 御嶽山 田ノ原上観測点(剣ヶ峰南東約2 km)の上下動地震波形の1分間振幅平均値の推移  
(2014年9月27日10時~9月30日12時)

- ・連続して発生している火山性微動は、噴火直後よりは小さいものの、29日19時20分頃から増減を繰り返して継続しています。